

授業科目名： 衛生学	教員の免許状取得のため の 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名：北原秀治 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 衛生学・公衆衛生学		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>衛生学・公衆衛生学では、多岐に及ぶ健康、保健とその阻害要因などについて学び、主に疫学的な手法を用いて、その解決について検討を図るものである。エビデンスに基づく保健活動、ひいては学校における健康指導に繋がるよう、理解を深められるようにしたい。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>(1) 健康管理に関する基礎的知識および基本的態度・習慣を習得する。</p> <p>(2) 人間の健康・疾病状況を疫学的な観点から理解するための基礎的知識および能力を身に付ける。</p> <p>(3) 地域保健・医療・福祉のしくみを理解し、その活動に参加するための基礎的知識を身に付ける。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：衛生学・公衆衛生学とは</p> <p>第2回：疫学、保健医療統計</p> <p>第3回：環境および健康の管理</p> <p>第4回：医の倫理</p> <p>第5回：社会保障について</p>			

第6回：地域保健、母子保健  
第7回：高齢者保健、産業保健  
第8回：学校保健  
第9回：疾病の把握  
第10回：感染症の予防  
第11回：生活習慣病の予防  
第12回：メンタルヘルス、精神保健  
第13回：がん医療政策  
第14回：食品衛生、栄養  
第15回：医療経済学

定期試験

\*スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

教科書

よくわかる公衆衛生学の基本としくみ 第2版 上地賢著 秀和システム出版

参考文献

スクーリング配布プリント

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。